

# 音楽心理療法のための夏期講習会

## 第1回 「音楽を通して自分を見つめる」

「心のケアを目的とする音楽療法」のための講習会です。この分野における国内外の音楽療法士や専門家による講義・ワークショップを通して、「生きることがつらいクライアント」とどのように関わることができるのか、音楽がどのような助けとなり得るのか。その専門的な方法をご自分の体験を通して理解を深める貴重な機会です。今回のテーマは「音楽を通して自分を見つめる」です。セラピーの学びは、まず自分を知るところから始まります。3日間のワークショップで実際に体験してみましょう。

日時： 2019年7月13日（土）、14日（日）、15日（月・祝）

場所： 聖グレゴリオの家（西武池袋線・東久留米駅徒歩10分）

定員： 約55名

参加者： 18歳以上、音楽療法を学んでいる方、これから学びたい方、ワークショップコースは自分と向き合う姿勢のある方

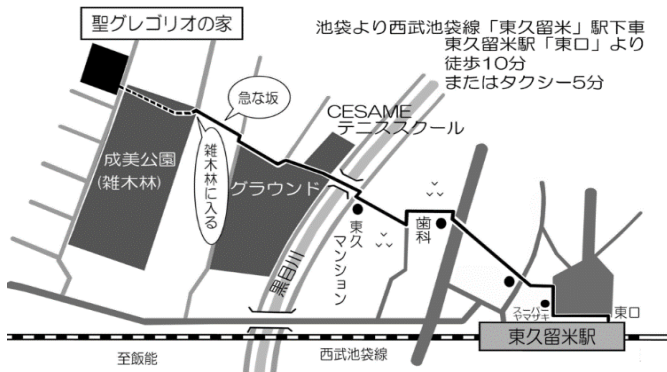
参加費：

- 3日間参加する \*ワークショップは一人1つのグループに3日間連続参加
  - ① **ワークショップコース** 39,960円（受講料37,000円＋消費税2,960円）
  - ② **レクチャーコース** 21,600円（受講料20,000円＋消費税1,600円）
- 1日のみ参加する \*ワークショップには参加できません  
7,560円（受講料7,500円＋消費税560円）

持ち物： 筆記用具・お弁当（注）動きやすい服装でいらして下さい

申込方法： 聖グレゴリオの家事務室にて Fax・メール・郵送で受け付けます

会場案内： 聖グレゴリオの家



聖グレゴリオの家 事務室

〒203-0004

東京都東久留米市氷川台 2-7-12

TEL：042-474-8915（月～金 9:00-17:00）

FAX：042-474-8832

Mail：info@st-gregorio.or.jp

## プログラム テーマ「音楽を通して自分を見つめる」

### 7月13日(土)

9:30-10:00 受付開始

10:00-10:10 開会&オリエンテーション

10:10-12:10 講演会「演奏に対する不安を解消するためには？」(講師：小宮)

12:10-13:30 ランチタイム

13:30-16:30 ワークショップコース：1日目

第1グループ：「声を通して自分を知ろう」

第2グループ：「自分のこころのオーケストラを聞いてみよう」

第3グループ：「あるがままを聴くこと奏でること」

13:30-15:30 レクチャーコース：「ドイツの音楽療法の今」(講師：内田)

16:00-17:30 茶話会(自由参加)

18:00-18:30 グレゴリオ聖歌による晩課(自由参加)

20:15-20:45 グレゴリオ聖歌による寝る前の祈り(自由参加)

### 7月14日(日)

10:30-11:45 グレゴリオ聖歌によるミサ(自由参加)

13:00-16:00 ワークショップコース：2日目

13:00-15:00 レクチャーコース「音楽心理療法とは何か」(講師：内田)

15:00-16:00 「臨床音楽セラピスト養成科について」(講師：内田)

20:15-20:45 グレゴリオ聖歌による寝る前の祈り(自由参加)

### 7月15日(月)

10:00-12:00 ワークショップコース：3日目

10:30-12:00 レクチャーコース「分析的音楽療法の原理と事例」(講師：小宮)

12:00-13:10 ランチタイム

13:10-14:30 講演会「日本とドイツにおける医学の歩み－身体中心の従来の医学から脳機能の理解に基づいた神経精神医学まで－」(講師：ミュラー)

14:30-14:40 閉会

15:30-16:30 チャリティコンサート「鎌田菜美のウクレレ&ボーカル」

\*内容や時間等は変更になる場合がございます

## ワークショップのご案内（一人1つのグループに3日連続参加）

### ① 第1グループ：「声を通して自分を知ろう」（定員16名）

生まれた時から誰もが持っている、普段何気無く使っている声。実は単なるコミュニケーションツールではないのです。声を出すということは、そこに含まれる心の動きや感情、つまり自分自身を外に向けて広げていくことにほかなりません。声を最も個人的な楽器として捉え、その声に意識して耳を傾けることで、自分自身をより深く知ろうというのがこのワークショップの目的です。様々なワークを通して、自分の声と、そして自身の内面とじっくり向き合ってみませんか。

講師：鎌田菜美 (Kamata Nami)

ドイツ認定音楽療法士、声楽家。国立音楽大学声楽科卒業、ドイツ・ミュンスター大学音楽療法科修了。2003年より現在まで精神科病院にて常勤音楽療法士として勤務、精神科及び心療内科をはじめ、高齢者病棟、依存症病棟、児童思春期精神科、司法精神科、脳神経科での音楽療法セッションを行う。国内外で音楽療法のセミナーやワークショップを開催しており、即興演奏を軸とした音楽心理療法セッションや自己分析、声と心のつながりを探る「声のセミナー」には定評がある。ドイツではウクレレデュオ「coconami」のヴォーカリストとしてこれまで4枚のアルバムを発表、映画出演も行っている。

### ② 第2グループ：「自分の心のオーケストラを聞いてみよう」（定員16名）

ここでは主に楽器を介入させることで自分と向き合う方法を紹介し、実践して頂きます。楽器をいかに捉え、見つめ、奏で、表現させるか。そしてそこに自分の感情や行動がどう浮きだされるのか。家族療法やシステムセラピーの要素を取り入れて楽器に特別な存在を与え、部屋全体を意識し、こころの内面を見ていきます。自分の内面の世界がどのようになっているのかを、見て、聞いて、そして体感する事で、異なる角度から自分を見つめる、見直すきっかけになるでしょう。グループでだからこそ学べる、自分探しのワークショップとなります。

講師：キカート結佳 (Kikat Yuka)

ドイツ認定音楽療法士、ドイツ音楽療法協会認定音楽療法士、心理療法専門ハイルプラクティカー。明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業、SRH ハイデルベルク大学音楽療法科修了。在学中に障害者のための社会支援施設、発達障害児のためのクリニックセンター、児童思春期精神病院で長期実習を経験。2009年よりハンブルク近郊の成人精神科病院で専属音楽療法士として勤務。2012年よりハンブルクにて音楽療法室こころを開室。2018年3月より上記精神科病院に属するデイクリニックでもグループ療法を担当。その他、ドイツ語圏在住アジア人音楽療法士のためのワークグループの責任者も担う。

③ 第3グループ：「あるがままを聴くこと奏でること」（定員8名）

音楽を通じて自分を見つめることは、まず自分を「聴く」ことから始まります。音になる前の無意識の音、またあるがままの自分を聴くことは、「奏でる」こと的前提です。音楽療法士にとっても、先入観なく相手を全身全霊で聴くこと、また相手が表出した音を「どう聴くか」が、音にする以前の大事な手掛かりになります。このワークショップでは、呼吸、声、音とムーブメント、楽器などを用いて、普段の思考モードから離れて、聴こえたものをあるがままに、自発的に音で表現してみる、またそれを聴いてもらうという体験を通じて、新たな自分の側面を探っていきます。

※参加者へ：楽で動きやすい服装、画材（水ボトル・画用紙（大きさ不問）・クレヨンや色鉛筆など）、持ち運べる楽器（1つ）をご持参下さい。

講師：鈴木琴栄 (Suzuki Kotoe)

全米・日本音楽療法学会認定音楽療法士。2016年1月までモロイ大学音楽学部音楽療法学科講師、コロンビア大学付属病院児童・精神科に在職。現職、高知県早明浦病院、勤務。ニューヨーク大学大学院音楽療法学科修士課程修了。レズリー大学表現アーツ療法科博士課程に在籍中。NYノードフ・ロビンズ音楽療法センターにて、障がい児や脳卒中後の成人などを対象に実践を積み上級資格を取得後、育成クラスの助教を務める。さらに、分析音楽療法、ボカール・サイコセラピーなど、即興を用いた音楽心理療法の上級資格も取得。成人を対象にした音楽心理療法や音楽療法士のためのスーパービジョン、自身の音楽創作・演奏活動も行っている。共著に『新しい芸術療法の流れ クリエイティブ・アーツ・セラピー』、共訳書に『音楽中心音楽療法』がある

## 講演会&レクチャーコース：講師紹介

マルティン・ミュラー (Martin Möller)：医学博士 (Dr. med.)。ドイツ認定放射線科専門医。レーゲンスブルク大学・ミュンヘン工科大学医学部卒業。エアランゲン大学病院およびミュンスター大学病院勤務を経て、現在北ドイツにある放射線科診療所 (RANOVA: die Praxis für Radiologie) に所属

小宮暖 (Komiya Dan)：米国認定音楽療法士 (MT-BC)、分析的音楽療法士 (AMT) 桐朋学園大学ピアノ科卒業、ニューヨーク大学大学院音楽療法科修士課程修了。2005年より分析的音楽療法の個人開業 (現在：横浜)、桐朋学園、国立音楽大学 非常勤講師 訳書：ケネス・ブルシア【編著】『音楽心理療法の力動』

内田博美 (Uchida Hiromi)：ドイツ認定音楽療法士、国立音楽大学卒業、横浜国立大学大学院修了、ミュンスター大学音楽療法科修了後、同大学院博士課程後期在籍中に著作『音楽療法の本～もう一人の自分と出会う』(2011年アルク出版企画) 出版。聖グレゴリオの家臨床音楽セラピスト養成科主任講師、ドイツ音楽療法センター代表

## 申し込み用紙

● 参加希望（○をつけて下さい）

（ ）① ワークショップコース

（ ）② レクチャーコース（ワークショップなし）

（ ）③ 1日のみ参加（ワークショップなし）

\*1日のみ参加の方：ご希望日（ ）

● ワークショップコース申し込みの方：ご希望のグループに○をつけて下さい。

（ ）第1グループ：「声を通して自分を知ろう」

（ ）第2グループ：「自分の心のオーケストラを聞いてみよう」

（ ）第3グループ：「あるがままを聴くこと奏でること」

\*各グループ定員制・先着順

氏名： \_\_\_\_\_（カタカナ： \_\_\_\_\_）

住所： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

メールアドレス： \_\_\_\_\_

職業： \_\_\_\_\_

### 【アンケート】

- ・この講習会をどこで知りましたか？
- ・この講習会の中で今後取り上げてほしいテーマがあれば教えてください。
- ・その他ご意見などございましたらお聞かせ下さい。